

一般社団法人 日本薬学教育学会 第5回理事会 議事録

開催日時：令和4年10月4日（火）10：30～12：00

開催場所：WEB会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村 明弘、有田 悦子、入江 徹美、木内 祐二、鈴木 匡、
高橋 一栄、武田 香陽子、長谷川 洋一、松浦 正佳、三浦 典子、安原 智久、
山田 成樹

<欠席>：石川 さと子、小佐野 博史、平田 收正

監事：亀井 美和子、林 正弘

事務局：横川 和代

議事に先立ち、初めて理事に就任した松浦理事、山田理事および三浦理事から挨拶が行われた。続いて、定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事、吉富監事が署名又は記名押印することが確認された。

議事：

1. 2022年度第1～4回理事会議事録案について（承認事項）

中村副理事長より2022年度第1回から第4回の議事録（案）に基づいて議事の概要が報告され、議事録として承認された。メールによる持ち回りで行った定款第34条第2項に基づく理事会決議についても、理事会としてカウントすることとした。

2. 2022年度定時社員総会議事録案について（承認事項）

中村副理事長より2022年度定時社員総会の議事録案が提示され、議事録として承認された。

3. 第7回大会実施報告（報告事項）

第7回大会の実行委員長を務めた有田理事から、資料に基づいて8月20日・21日にオンライン開催された大会の概要が報告された。テーマは「薬学人のアイデンティティを探る～自己実現を志向する薬学教育」で、プログラムは基調講演1件、特別講演1件、奨励賞受賞講演（教育研究奨励賞3件、教育実践奨励賞1件）、シンポジウム14件、ワークショップ6件、一般演題口演発表93題（一般82題、学生11題）であった。学生発表から3題が優秀発表賞に選ばれた。事前参加登録者は一般444名、学生29名で、大会参加者総数は517名であった。大会後の参加者アンケートの結果が資料に基づいて紹介された。大会の収支については黒字になる見込みであることが報告された。

4. 2022年度学会賞（教育研究奨励賞・教育実践奨励賞）の募集について（協議事項）

安原理事より2022年度学会賞として教育研究奨励賞と教育実践奨励賞の募集について資料に基づいて説明された。応募の締め切りは令和5年2月20日とした。教育実践奨励賞については、臨床からの応募者を増やす必要がある。教育研究奨励賞はレベルアップしており、落選者の再挑戦も十分可能である。

5. 理事の業務担当について（協議事項）

理事の業務分担について検討し、以下の担当で活動を始めることとした。

総務・企画担当：○中村明弘、長谷川洋一

財務担当：○有田悦子、長谷川洋一

広報担当：○石川さと子、安原智久

学術担当：○安原智久、有田悦子、鈴木 匡、武田香陽子

大会担当：○入江徹美（第8回大会）、三浦典子（第9回大会）

連携担当：○木内祐二、高橋一栄、山田成樹、松浦正佳

日本私立薬科大学協会との連携：中村明弘、長谷川洋一

大学教育担当（仮称）*：小佐野博史、鈴木 匡、平田收正

生涯教育担当（仮称）*：高橋一栄、松浦正佳、山田成樹

* 卒前と卒後の連携も重要であり、担当名については改めて検討することとした。

6. 「教育コンピテンシーの全国測定—大学横断的な教育成果の測定研究会」第1回ワークショップについて

安原理事より資料に基づいて、標記ワークショップが2022年9月18日（日）に21名が参加してオンライン（oVICE）で開催されたことが報告された。教育コンピテンシーの全国測定は第4回大会（2019年）において提案され、2020年にワークショップの開催が予定されていたが、コロナ禍によって延期を余儀なくされてきた。協議はワールドカフェ形式で実施され、会話はすべて録音されており、今後、文字起こしされて解析される予定である。なお、本テーマは科研費に採択されており、経費は科研費から支出される。

7. 委員会報告（報告事項）

・ 編集委員会

入江理事から資料に基づいて J-STAGE 公開状況と論文投稿・審査状況が報告された。

・ 薬学実務実習委員会

鈴木理事から2023年2～3月に薬学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂の進行に合わせてシンポジウム等の開催を検討していることが報告された。

・ 倫理教育委員会

有田理事より第7回大会において実務実習の体験を倫理教育にどのように活かすかについてワークショップを開催し、熱心な参加者によって活発な議論が行われたことが報告された。

・ 国際化委員会

武田理事より委員会（8月23日開催）の議事録に基づいて、学会誌「薬学教育」への投稿の採択、第8回大会でのシンポジウムの企画、および今後の活動計画が報告された。

・ 中長期ビジョンワーキンググループ

入江理事より資料に基づいて、ワークショップ「皆で未来の薬学教育を考えよう！」を2022年10月16日（日）に帝京平成大学薬学部（中野キャンパス）において参加者20名で開催することが報告された。

8. 薬学系人材養成の在り方に関する検討会（第3回）について「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」

乾理事長より、文部科学省の薬学系人材養成の在り方に関する検討会によってとりまとめられた「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」について、議論の経緯と概要が紹介された。

9. 第1回「日本薬系学会協議会（仮称）」設立に向けた準備委員会について

乾理事長より 2022年9月14日に開催された「日本薬系学会協議会（仮称）」準備会の内容が資料に基づいて紹介された。

10. The 10th Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) Conference について

乾理事長より標記 conference がマレーシア主催で7月30日・31日に Web 開催され、日本からの参加者は30~40名であったことが報告された。

11. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて2022年9月22日時点の会員数の増減・会費納入状況が報告された。個人会員は741名で会費納入率84.2%、学生会員は59名で会費納入率は23%、機関会員は67件で会費納入率94%、賛助会員は8件で会費納入率87.5%であった。

11. その他

- ・次回理事会の開催について

例年通りとするが、必要があれば提案するよう依頼された。

- ・適格請求書発行事業者の登録申請について

事務局より適格請求書発行事業者の登録申請について検討する必要があることが紹介された。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2023年2月7日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 亀井美和子

監 事 林 正弘